

長期事業構想

社長の夢、社長が将来どんな会社になりたいか。儲かっているでもいい会社か悪い会社があります。これでいい会社を作る。儲かるかどうかは戦略で決まります。いい会社かどうかはこれで決まります。儲けていい会社を作る。いい会社だが儲けしていないと意味がない。この場合は戦略を考える。

1.基本方針

- ① 従業員の物心両面の幸せ、社員を人生の勝利者にしたい。
- ② 会社の仲間同士、仲のいい職場に必ずする。仲間を褒める組織にする。
- ③ お客様から命の恩人と言われる税理士事務所にする。
- ④ 地域が自慢できる税理士事務所にする。
- ⑤ 仕事をゲーム化する。経営者はゲーム化を常に考える（勉強、評価、給料等）
- ⑥ 神様から見て◎をくれる様な仕事をする。
- ⑦ プロの上の「プロ中のプロ」を意識する。徹底的にこだわること。
- ⑧ 儲けたい、規模を大きくしたいより「人の役に立ちたい」気持ちで仕事をする。
- ⑨ 「心」が豊かさを生み、「心」が幸せを決める時代に事業を成功させるには、社員同士の仲がよく、それぞれの心が広いことが求められます。
- ⑩ 勉強や研究は永遠にし続けること。赤字会社の共通点は勉強しない、研究しない。但し勉強、研究しても儲けるとは限らない。
- ⑪ 商売とはお客様に何を提供したら喜んでくれるか？を永遠に問い続けること。終わりはない。
- ⑫ 安定成長はするが、急成長はしない。急成長は社員のレベルを落とす。サービスが悪くなる。成長拡大はいいが、急成長しない。
- ⑬ 見栄の張らない経営をする。（無理して従業員を雇わない。無理して雇ったら従業員が不幸になる、不幸な従業員を作らない）
- ⑭ 五方良しを忘れない、ずっと意識する。五方とは、従業員とその家族、仕入先と協力業者、お客様、地域住民、神様

2.経営（どんな経営をするか）

- ① 正々堂々と商売をする（姑息な商売はしない）。本物の商品サービスを行う（偽物の商品サービスはしない）。正直に伝える。
- ② 筋の通った本物の経営を行う。
- ③ 法令遵守のみならずさらに次元の高いかがわしいものに手を出さない。